

令和5年度入学生用カリキュラムマップ

【健康・スポーツ科学研究科 健康・スポーツ科学専攻】

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号											
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目											
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 読解			4. 読解		
1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	4-1	4-2		
23MHSA1312	課題研究Ⅰ	1	修士論文作成に向けての準備段階と位置づけて、実験計画の立案、予備実験の実施、データ解析、ディスカッション、そしてプレゼンテーション能力を高め、課題研究Ⅱへと繋げていく。	研究の最新情報、特に欧米の論文をよく読んで研究の知識を深めること。また、実験・調査の手法や統計解析能力を高めて修士論文の作成準備を整えること。	◎	◎										
23MHSA2322	課題研究Ⅱ	2	大学院での特論・演習・実習で修得した知識・技術を基に自らの研究テーマの背景と課題を明確にし、適切な研究方法と解析能力を養い、その成果をまとめてプレゼンテーションができること。	課題研究Ⅱを通して自身の研究テーマを学会で発表し、より質の高い修士論文に繋げていけるようにする。	◎	◎							◎	◎	◎	
23MHSC1212	健康・スポーツ科学研究法	1	本授業では、研究のプロセス、統計手法および研究スタイルについて解説し、修士論文を作成するための基礎的知識を学ぶこと、および科学の健全な発展のために身につけなければならない科学者として必要な考えや態度を養うことを目的とする。	スポーツ教育学、スポーツ科学、スポーツマネジメント学、および健康科学の各分野に関係する研究法についての理解を深める。加えて、科学の健全な発展のために科学者として必要な考え方、すなわち1) 責任ある研究活動とは何か、2) 高い倫理性に基づく研究の進め方、3) 適正な研究成果の発表について理解する。	◎								◎	◎	◎	
23MHSC1222	身体運動評価学実習	1	スポーツ健康科学と理学療法学の現場に必要な身体運動の見方・考え方を学ばせ、種々の実習を通して身体運動の量的・質的評価ができるようになることを目的とする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	スポーツ医学に関連する測定方法および解析方法について正しく理解できると同時に測定および解析に使用する機器を正しく操作することができる。また、測定および解析を実施する際の注意点について説明でき、なおかつ測定および解析の妥当性、信頼性について検討することができ、身体運動の質的評価ができるようになる。									◎	◎		
23MHSP1211	保健体育科教育学特論	1	保健体育科の教育目標、教育内容、指導方法、学習のあり方についての基礎的な知識・概念の理解を深めていく。それをもとに、保健体育科の課題の解明に迫る。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	・保健体育科の意義を理解できる。 ・保健体育科の課題にむけて解決方法（研究の視点）を身につける。			◎			○				○	○	
23MHSP1312	保健体育科教育学演習	1	保健体育科に関して問題を指定し、理論的ないしは実践的に解明していくための研究計画を作成する。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	①解明しようとする問題を演習のテーマとし、先行研究の動向を知る。 ②テーマに迫るための研究方法を定める。 ③データを集め論理的に組み立てて一定の知見を得る。			○			◎				○	○	
23MHSP1221	スポーツ教育学特論	1	スポーツ（体育授業以外のスポーツ実践を主な対象とする）を教育という観点から捉え、スポーツの教育力・実態（問題点）・実践課題などを総合的に明らかにする。 なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	受講生がそれぞれのスポーツ観・教育観を再吟味し、視野を広げたうえで再構築することを目標とする。						◎	◎			◎	◎	

科目番号	科目名	学年	科目目的	到達目標	ディプロマ・ポリシーの項目番号												
					凡例：◎ディプロマ・ポリシー達成のために特に重要な科目 ○ディプロマ・ポリシー達成のために重要な科目												
					1. 知識・理解			2. 技能・表現			3. 判断			4. 読解			
1-1	1-2	1-3	1-4	1-5	1-6	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5	3-1	3-2	4-1	4-2			
23MHS1221	運動機能障害学特論	1	中枢神経障害および内部障害による運動機能の喪失について、その特徴および運動機能解析について基本的理解を得る。さらに、理学療法の評価と介入についても理解する。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	修士課程大学院生が運動機能障害学に関する基本的理解を深め、理学療法の評価と介入について論理的に説明することができる。									◎		◎		◎
23MHS1322	運動機能障害学演習	1	中枢神経障害および内部障害による運動機能の喪失について、国内外の文献講読を通じて、理学療法の評価と介入における最新の現状について理解する。なお、本科目は専修免許の取得に必要な科目である。	修士課程大学院生が自らの研究に関係する英語論文購読を通じて、運動機能障害学分野の研究を理解する。	◎	○				◎				◎			◎
23MHS1231	分子機能回復学特論	1	人体の運動機能またそれを制御している神経機能を分子レベルから理解するための、基礎知識を学習する。	我々の体を構成している細胞にある様々な分子の働きについて、理解する。										◎			◎
23MHS1332	分子機能回復学演習	1	本演習では運動機能障害や運動失調症が細胞生物学・分子生物学の手法を用いてどのような解析ができるのかを、実際の論文を解説することによって学習する。また特論で学んだ解剖生理学的な知識と細胞・分子生物学的な知見がどこまで統合可能になってきているのかを考察させる。	英語の論文を読んで理解することができる。論文の内容を要約し、発表することができる。	◎									◎			◎